

☆話す・聞く☆

説明や報告をするとき

- ① 目てきを意きして、話題を決める。
- ② 話す材料を集める。
- ③ 話す材料をくらべたり、分けたりして必要な事（ひつぎょう）がらを選ぶ。
- ④ 話すことを組み立てる。
  - ・ 相手に伝わるように、理由や事例をあげる。
  - ・ 話の中心が伝わるように、組み立てる。



【話すときに気を付けること】

- 言葉の強弱
- 声の出し方（気持ちに合った声の工夫）
- 視線（相手を見る。）
- 間の取り方
  - ・ 話の組み立ての中の「始め」「中」「終わり」で間を取る。
  - ・ 大事な言葉の前に間を取る。



スピーチを聞くとき

【聞くときに気を付けること】

- 大事な言葉は何か考えながら聞き、必要なことを記録する。
- 話のまとめりを考えながら聞いて、話の中心をとらえる。
- 分からないことや確かめたいことを質問する。
- 聞いたことに対して、自分の考えをもつ。

グループで話し合うとき

- 話し合う目てきや進め方を確認（かくしん）して話し合う。
- 司会：話し合いがまとまるように進める。
- いろいろな人の発言を聞くようにする。
- 発言の同じ点、ちがう点を確認する。
- 参加者：話題にそって発言する。
- おたがいの意見の同じ点、ちがう点に注目する。
- 考えがちがうときは、どのような理由からかに注目する。

## ☆書く☆

### 調べたことを書くとき

- ① 相手や目てきを考えて、書くことを決める。
- ② 書きたい内容を集める。
- ③ 書きたい内容をくらべたり、分けたりして書く材料を整理する。
- ④ 書くことを組み立てて書く。



- ・書くことの内容が伝わるように、組み立てる。
- ・内よりのまとめりで、だん落をつくる。
- ・相手に伝わるように、理由や事例をあげる。

#### 理由を表す言葉

なぜなら その理由は ～ため（から）である  
事例を表す言葉

たとえば ～などがそれに当たる

- ・必要におうじて、本の内よつを引用する。

#### 引用の仕方

引用する部分をかぎ（「」）でくくり、そのまま抜き出す。

引用には、図表やグラフ、絵や写真などもふくまれる。

### 出典の表し方

引用した本のタイトル・作者名・出版ん社名・発行年・書かれていたページを書く。

- ⑤ まちがいを正したり、相手や目てきを意きした表現になっているかたしかめたりする。
- ・主語とじゅつ語、修飾語しゆじゆごと修飾しゆじゆされる言葉の関係が正しいか。
  - ・文末の書き方「だ・である」「か」です・ます「」が、とういつさされているか。

### 手紙の書き方

あいさつ	
伝えたい内容	
結びのあいさつ	
書いた日づけ	自分の名前
相手の名前	



基本的な形式を覚えよう！

## 感想文の書き方

### ①書く内容を集める。

書きたい内容 (例)

- ・本を選んだ理由
- ・一番心に残ったところ
- ・印象に残った言葉
- ・疑問に思ったこと
- ・自分が主人公だったらどうするか



- ・主人公と同じような経験をしたときのこと
- ・この本の中で、友達にしようかいしたいこと
- ・この本から学んだこと
- ・本を読む前と読んだ後で考えが変わったこと

### ②書きたい内容をくらべたり、分けたりして書く材料を整理する。

### ③書くことを組み立てて書く。

- ・書くことの中心が伝わるように、組み立てる。
- ・内よりのまとまりで、だん落をつくる。
- ・相手に伝わるように、理由や事例をあげる。

○本の内よりを伝えるだけの感想文にならないように注意する。

### 【組み立て】

終わり	中	始め
○この本から学んだこと  なごじ	○自分が主人公だったらどうするか。 ○本を読む前と、読んだ後で考えが変わったこと	○本を選んだ理由 ○本の題名から想像したこと  なごじ



## ☆読む☆

### 説明文を読むとき

○だん落とだん落の關係に注目して読む。

手がかりにするもの

・考えとその事例

※事例：書き手の考えを具体的に説明するために

あげられた事からや内容

・結ろんとその理由

↓だん落の内ようをとらえ、だん落どうしがどの

よう<sup>よう</sup>に結びついているかを考えていく。

○要約する。(文章の内ようを短くまとめる。)

手がかりにするもの

内ようの中心になる語や文

↓中心となる語や文を見つけ、自分の言葉でまと

めていく。

○文章を読んで、自分の感想や考えをもつ。自分が知

っていることや体験したことと結び付けたり、き問

点やならに知りたい点などを見付けたりする。



### 物語を読むとき

○登場人物の行動や気持ちをとらえる。

手がかりにするもの

行動や会話文

登場人物がおかれたじょうきよう、性格

↓物語全体を見通して、いくつかの文をもとにとら

える。

○登場人物の気持ちの変化や性格、情景<sup>じやうけい</sup>について想像<sup>さうしょう</sup>

する。

手がかりにするもの

場面のうつり変わりとともに登場人物の気持ちがど

のように変化しているか。

↓いくつかの場面の文を結び付けて想像していく。

↓情景には、登場人物の気持ちが表示されていること

が多いので、場面のうつり変わりとともに変化し

ていく登場人物の気持ちとあわせて考えていく。



☆言葉☆

国語辞典

五十音順。まず一字目を見る。一字目が同じときは二字目、二字目が同じときは三字目を見る。

清音(は)は(↓)だく音(ば)は(↓)半だく音(ぱ)は

漢字辞典

部首とく引・そう画とく引・音訓とく引

※音：中国の発音をもとにした読み方

訓：意味に合う日本語を当てた読み方

百科事典・図かん

目てきにおうじてえらぶ。

目次やさく引を使って調べる。

ことわざ

生活に役立つちえや教えをふくんだ短い言葉

「ぜんは急げ」「石橋をたたいてわたる」

慣用句(かんようく)

二つ以上の言葉が結び付いて元の意味とはちがう

特定の意味を表す言葉

「水に流す」「羽をのびす」「頭を冷やす」



故事成語(こじせいご)

中国の故事に由来する言葉

「矛盾(むじゅん)」「推敲(すいこう)」「五十歩百歩」

熟語(じゆくご)

①意味がにた漢字の組合わせ：絵画 学習

②意味が対になる漢字の組合わせ：父母 左右

③上の漢字が下の漢字の意味をくわしくしている

もの：曲線 大空 海水

④上の漢字が動作や作用を、下の漢字が「し」を

「し」を表すもの：加熱 開店 帰国

⑤上の字が下の字を打ち消しているもの：不安

修飾語(しゆしご)

ほかの言葉をくわしく説明するはたらきをする言葉

修飾語 主語 修飾語 主語 修飾語 主語 修飾語

元気な 男の子が 校庭を 走った。



主語 修飾語 修飾語 修飾語 主語 修飾語 主語 修飾語

わたしは、今週の 日曜日に 映画館へ 行く。